

小学生の女の子の描いた「人と人がつながる」かわいらしく温かなイラストを元に、シンボルマークを作成しました。

家庭教育支援チーム

こもんず

千葉市小中台中学校区

設立の経緯

近年、都市化、核家族化、少子化などの社会情勢により、家庭教育が困難になっていることが指摘されており、身近な地域ですべての親が家庭教育に関する学習や子育てに関する不安・悩みの相談ができる場を必要となっている事、また、地域全体で家庭教育を支援する持続可能な仕組みの一つとして、子育てサポーター、民生委員等地域の人材で構成し、平成20年度に結成しました。



地域住民・保護者

相談の場の提供

学びの場の提供

相談活動

*子育て井戸端会議



(例) 寄せ植え講座
街のお花屋さんを講師に、寄せ植えを行いながら交流。終了後にお小遣い、やる気スイッチ、子どもの生活習慣などをテーマに井戸端会議。

- *こもんずカフェ (個別相談)
- *こもんずひろば

子育て・親育ち講座



(例) 「どう伝える? 性の話」
絵本を利用して
※図書館と協力

小・中学校、保育所、
図書館等で実施

地域人材養成・交流 地域の情報収集

*地域家庭教育 フォーラム



参加者の声:

- ・どのように次世代に関わっていったらよいかを考えた。
- ・地域の様々な団体や活動の地道な取り組みがクリーンヒットにつながる。

広報紙の作成

保護者、公民館、
地域団体等に配布

家庭教育支援チーム

<こもんず>

子育てサポーター、臨床心理士、保育士、
民生・児童委員、主任児童委員、PTA関係者

・どう伝える? 性の話
性教育ってどうやって切り出していいの、本当に分からなかったけれどお話を聞いて心が軽くなりました。

参加者の声

・子育てとスマホ
今あるものと賢く付き合う、ほどよく付き合う。空いた時間で子どもとしっかり向き合う。
気持ちが少し楽になりました。

初対面の方々に緊張しましたが、学年を越えていろいろなお話が聞けて良かったです。

成果 (平成29年度事業実績)

子育て親育ち講座	: 6回	420人参加
子育て井戸端会議	: 3回	56人参加
こもんずカフェ	: 14回	32人参加
地域協力者会議	: 2回	38人参加
地域家庭教育フォーラム	: 1回	25人参加

地域協力 者会議

学校・幼稚園・保育所
PTA・公民館
保健福祉センター
青少年育成委員会 等

子ども・子育て家庭を取り巻く地域の環境



<こもんず>による「つながりの場づくり」と「つながる仕組みづくり」



地域協力者会議 年2回開催

●構成

小中学校・幼稚園・保育所・保健センター・公民館・中学校区青少年育成委員会・こもんず・市教委(事務局)

場合によっては

社会福祉協議会、地域団体、民生児童委員会協議会、スポーツ振興会 等の参加

●内容

地域の機関等との連携・課題共有企画・計画



保健福祉センター健康課との連携

- 保健師・管理栄養士・歯科衛生士・看護師との情報交換
- 子育て世代の心と体のあり方についての講座実施
- 子育て支援連絡会・地域健康づくり連絡会構成員
- 広報紙での情報提供の相互協力



地域資源の活用

- 地域在住の専門家へ講師・相談員の依頼
- 地域団体・商店街との連携

学校との連携

- 就学時健康診断・入学説明会での子育て・親育ち講座の実施
- 教職員との情報交換

公民館との連携

- 地域協力者会議への参加協力
- 会議、講座等の会場の貸出
- 講座等の広報の協力

図書館との連携

- 講座の会場の貸出
- 講座等の広報の協力
- 講座関係の図書の展示コーナー設置

チームの研修

- 児童家庭支援センター「こどもの人権について」
- 生涯学習振興課「社会教育講座づくりのポイント」
- 他の関係機関の研修に参加